

グラム染色液

フェイバーG 染色液A ビクトリアブルー

フェイバーG 脱色液

フェイバーG 染色液B フクシン

フェイバーG 染色液B サフラニン

——— はじめに ———

グラム染色は1884年C.Gramによって見出され、細菌や真菌の形態、配列およびグラム染色性のちがいに、ある程度の菌種名が推測できる等、細菌検査では欠かすことのできない重要な手段のひとつです。その後、多くの変法が提唱され、各々十分に活用されています。しかし、これらの方法は操作がやや煩雑で、エタノール等の脱色操作時に、手技によるグラム染色性の変化が発生しやすく、さらに一次染色と対比染色との色調の判定には十分な経験を必要とします。

また、媒染剤のルゴール液は長期保存ができず、光によって変性する等、多くの問題があります。

フェイバーGはこれらの問題点を解消する目的で西岡によって開発されたもので、より簡易に、かつ確実に鑑別を行うことができます。

——— 特 徴 ———

1. 従来のセット販売から1本ずつ個別に購入できますので、無駄がありません。
2. 媒染と脱色を同時に行うため操作が簡単です。
3. 脱色液による脱色のしすぎがないため確実に染色することができます。
4. グラム陽性菌と陰性菌は各々青色と赤色に染まるため、明瞭に区別することができます。
5. 各試薬は長期保存に対しても安定です。

——— 本質〈キットの構成〉 ———

フェイバーG 染色液A (0.2%ビクトリアブルー溶液)	500mL × 1本
フェイバーG 脱色液 (2%ピクリン酸エタノール溶液)	500mL × 1本
フェイバーG 染色液B フクシン (0.04%フクシン溶液)	500mL × 1本
フェイバーG 染色液B サフラニン (0.25%サフラニン溶液)	500mL × 1本

——— 使用目的 ———

細菌などのグラム染色

——— 使用方法 ———

[染色操作法]

1. 臨床材料、新鮮培養菌等をよく洗浄したスライドガラスに薄く均一に塗り広げた後、自然に乾燥させます。
2. 乾燥させたスライドを固定します。次の方法を選択します。

- 1) 火炎固定：ピンセットを用い、炎の上部をゆっくりと数回通します。
- 2) メタノール固定：純メタノール中で30秒～1分間固定します。
3. 染色液Aを満載し、1分間染色します。
4. 流水を塗抹面に直接かけないように穏やかに水洗します。
5. 水をよく切ったのち、脱色液を満載し、染色液Aの青色が溶け出さなくなるまで、数回くり返します。
6. 流水を塗抹面に直接かけないように穏やかに水洗します。
7. 染色液B フクシン又はサフラニンを満載し、1分間染色します。
8. 流水を塗抹面に直接かけないように穏やかに水洗します。
9. スライドガラスの水分を除きます。
10. 乾燥後1000倍で油浸鏡検します。

[鑑別法]

グラム陽性菌：青色に染まります。

グラム陰性菌：赤色に染まります。

(ブドウ球菌(グラム陽性菌)と大腸菌(グラム陰性菌)を対照として同時に染色することをおすすめします。)

——— 使用上または取扱い上の注意事項 ———

1. 一般的な注意事項

- 1) この添付文書をよく読み、記載された操作法に従い使用してください。
- 2) 新鮮な材料を使用してください。検体採取後または培養後長期経過したものでは、正しい結果が得られないことがあります。
- 3) 各染色液は染色槽を用いて使用できますが、この場合、脱色液はできるだけ密閉できる容器を使用してください。また、脱色液が青色を呈するようになった場合やグラム陰性菌が紫色に染色された場合は液の劣化が考えられますので、脱色液を取り替えてください。
- 4) 染色液Aは長期保存により沈殿を生ずる場合がありますが、染色には支障ありません。
- 5) 各試薬は不純物などの混入により変質する恐れがありますので、汚染させないように十分注意してください。
- 6) 各試薬の保存期間を厳守し、使用期限を過ぎた染色液、脱色液は使用しないでください。

2. 危険防止上の注意事項

- 1) 各液が目や口に入った場合には、水で十分に洗い流し、医師などに相談し、指示を受けてください。
- 2) 検体に接触した器具、試薬および試薬容器などは感染の危険性があるものとして取扱ってください。
- 3) 脱色液は引火性がありますので火の近くには置かないでください。

3. 廃棄上の注意事項

- 1) 使用後のスライドグラス等は、廃棄物に関する規定に従って医療廃棄物等に区分して処理してください。
- 2) 使用期限が無効となった各液は、廃棄物に関する規定に従って、有機溶媒等区分して処理して下さい。

—— 貯法・使用期限 ——

[貯 法]

密栓して室温に保存

[使用期限]

1年間。

外箱および容器のラベルに使用期限を記してあります。

—— 包 装 ——

フェイバーG染色液A	Code 05872
フェイバーG脱色液	Code 05871
フェイバーG染色液B フクシン.....	Code 05875
フェイバーG染色液B サフラニン.....	Code 05869

—— 問い合わせ先 ——

〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6

島津ダイアグノスティクス株式会社 カスタマーサポート担当

電話：03(5846)5707

製造販売元

島津ダイアグノスティクス株式会社

本 社 東京都台東区上野3-24-6

T E L 03(5846)5611(代)

製 造 元

純正化学株式会社

本 社 東京都中央区日本橋本町4-4-16

T E L 0296(43)7711